

## グループディスカッション ワークシート

グループ名:  D

【テーマ】「地域自立支援協議会の役割について

～多くの市民が分野や違いを超えてつながり合う地域づくりのために～」

### ・グループで出た意見や話し合った内容など

★テーマについて、協議会に参加して各々が得られたことから考えてみることにした。

- ・ 地域移行部会への参加。各ケースの支援に当たっても、自分達だけで行うとどうしてもそこで完結してしまう。協議会によって横のつながりができたことで、他支援機関へ相談がしやすくなり、支援について深く考えることができた。
- ・ 相談支援部会への参加。各事業所の方の顔が分かり、相談しやすくなったことが良かった。事例を中心に具体的に検討をしているのが良い。コミセンとやり取りをする等、外部へ働きかける活動が素晴らしいと感じた。特別支援学校等の教育部門の方も入るとより良いと感じた。
- ・ 交流つどい部会に参加。就労選択支援を通じて、計画相談をはじめとする内定先、市等多くの機関と関わることができた。しかし、携わる人が多すぎて旗振り役がいけないと感じる。本人のニーズに対して、予期せぬたらい回し等のリスクがある。
- ・ 地域移行部会への参加。実務では精神科病院からの退院支援を行っている。実質3名で行っている現状である。地域の方に入ってもらって意見をもらえたのはとても良い機会であった。とてもありがたく感じると共に、申し訳なさも感じたため、部会参加者への報酬とかがあっても良いのではと思った。
- ・ 自分たちが話したことがどのように利用者に還元されるのか、制度がどのように変わったのか、が形になって見えるとより活動が伝わりやすいのではないかと思う。過去、成果物としてガイドラインを作成した。協議会の中でそのような成果物を見直すというのも良いのではないかと思う。
- ・ 住まい部会に参加。様々な方（特に当事者の方）とつながれたのがよかった。例えば商店街で従事しているような一般の方が入ってくると面白そう。
- ・ 住まい部会に参加。様々な分野の方と関わることができて学ぶことが多い。住まいに関しては障害種別によってアプローチが全然違う。過去、成果物としてヘルプカード等を作った。確かに、それらを見直しする機会があってもよいと思う。不動産屋が来て懇親会ができた。ゲストを呼んで話す機会はとても貴重で良かった。

- ・ 各部会からの話を聞いて共通項があると感じた。一つ目は、横のつながりによる多面的な視点の獲得。二つ目は、全ての支援者が実際の事例について困っている部分を感じており、こぼれ落ちているような方への支援、困っている方に気づける支援実施の参考にできること。三つ目は、これまでの歴史の中で作成した成果物を見直すという視点。定期的に循環させることで新しい風を吹かせることができると思う。
- ・ 協議会で作成することによって、行政のみでは作れないようなリーフレットが作成できると思う。成果物が楽しみ。
- ・ 福祉業界の中で完結させるのではなく、他業界の方を巻き込むことが重要だと思う。
- ・ 他業界の方をゲストとして呼び話を聞ける機会がもっとあればよいと思った。
- ・ とても勉強になるので、今後も参加していきたい。
- ・ 協議会が制度として認められていることが大きい。すぐに何かの結果・成果につながらなくても、各支援者が個別に得られるものがあるはずである。